

柳井市・周防大島町・田布施町・平生町・上関町ブロック
(しゃべりBARin サザンセット) 報告書

○日 時：令和2年10月9日（金）19：00～21：00

○会 場：ZOOM研修

○テーマ：「視覚障害がある方の理解に向けて」

○参加者：8名（うち社会福祉士会正会員8名）

○報告者：柳井市・周防大島町・田布施町・平生町・上関町ブロック ブロック長亀山雄樹

○報告作成日：令和2年10月20日（火）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度の「しゃべりBAR」は当初の予定を大きく変更し、しばらく開催を中止しておりました。

このコロナ禍を転じ、会員同士の相互交流と研鑽の推進を図るべく、10月は平生町にお住まいの吉原和子さんを講師に迎え「視覚障害がある方の理解に向けて」と題し、久しぶりに研修会を開催しました。

吉原さんの人生経験を基に、参加者が質問する形式で研修が進められ、冒頭にはボランティア活動として行われている「カレンダーを利用した封筒作り」を目の前で見せて下さいました。

この「封筒作り」や「小学校における総合的学習への協力」等、長年に渡るボランティア活動が認められ、厚生労働大臣表彰（ボランティア功労）や山口県奨賞（社会福祉功労）の受賞等、数々のご功績をお持ちの吉原和子さんが話される一言一言から、視覚障害者の方々が日常の中で感じておられることについて理解を深めることができました。

また、個人的には「いまある能力を活かして人の役に立ちたい」と言われた吉原さんのお言葉が、社会福祉士として『初心忘るべからず』と自らを奮い立たせました。